

4回戦 アンソメット 岩手八幡平 3-2 富士クラブ 2003

昨年ベスト8のアンソメットは4回戦からの登場、東北社会人1部リーグに所属するいわば「格上」の富士クラブ2003との対戦。試合は、相手にディフェンス陣のミスをつかれ立て続けに失点し、序盤から2点のビハインドを背負う苦しい展開となる。しかし、18分にFKからつないだボールからMFタチコのヘディングで1点を返すと、27分には混戦からFWジェロニモが押し込み2-2の同点に追い付く。その後は徐々に自分たちのペースで試合を進めると67分、ドリブルで切れ込んだFWジェロニモからのパスを受けたMF白井が鮮やかに逆転ゴール。この1点を守り切ったアンソメットが見事初戦を突破した。



27分、MFタチコ(写真中央、背番号2)が身長193cmの高さを生かしたヘディングで反撃ののろしを上げる得点を挙げる

7月16日 紫波町・県フットボールセンター／観客約50人					
アンソメット	3	2	2	富士クラブ	
岩手八幡平		1	0	2003	

GK	1	サロモン	中越悠樹	25	GK
DF	30	阿達亮介	阿部拓己	3	DF
	5	井筒庄吾	安孫子祐太	5	
	26	仲村太地	長峯滉希	15	
	9	阿部伶史	菊池元太	16	
MF	2	タチコ	庄司英太郎	7	MF
	4	三好 諒	庄子 渉	8	
	6	白井一馬	藤原健吾	6	
	7	貞松涼太	佐々木雄太	10	
FW	8	鶴田溪季	藤原幸太	11	FW
	16	ジェロニモ	岩崎 嵩	22	
監督		丸山富洋	高橋慎太郎		監督

前10後8	18	シュート	9	前6後3
タチコ(18分)	1-2	得点	0-1	岩崎(13分)
ジェロニモ(27分)	2-2		0-2	岩崎(17分)
白井(67分)	3-2			
三好→今枝弘幸(78分)	交代	庄子→富永祥太(61分)		
鶴田→丸山龍也(82分)		岩崎→平栗尚幸(72分)		
貞松→原田大輔(87分)		菊池→穴戸孝臣(90分)		
タチコ、鶴田	警告			



岩手県サッカー選手権大会で準優勝したアンソメット岩手八幡平(写真=決勝、対グルージャ盛岡戦のスターティングメンバー)後列(左から)FWジェロニモ選手、FWタチコ選手、GKサロモン選手、DF仲村太地選手、DF阿達亮介選手、DF井筒庄吾選手 前列(左から)MF鶴田溪季選手、DF阿部伶史選手、MF白井一馬選手、MF三好諒選手、MF貞松涼太選手

準々決勝 アンソメット 岩手八幡平 3-1 岩手大学 (延長)

気温が30度近くまで上がり、時折激しい雨の降る中行われた岩手大学との準々決勝。アンソメットはキックオフ直後にセットプレーから先制点を許すが、焦ることなく落ち着いてゲームを支配していくと、31分にMF三好がドリブルで持ち込み、そのままシュートを決める。その後も積極的にゴールに仕掛けるものの、中盤を厚くし、プレスを仕掛ける相手の好守に阻まれ得点が奪えない。後半終了間際に得たPKのチャンスも外し、試合は1-1のまま延長戦へ。すると96分、MFタチコからのパスに反応したMF鶴田が値千金のゴールを挙げる。100分には途中出場のFW丸山が右足で合わせダメ押し。チーム初の準決勝進出を決めた。



96分、相手のディフェンスラインの裏に抜け出したMF鶴田が待望のゴールを奪う

7月24日 花巻市・スポーツキャンプむら／観客約50人					
アンソメット	3	1	1	岩手大学	
岩手八幡平		0	0		
		2	延前		
		0	延後		

GK	1	サロモン	成田峻之	28	GK
DF	30	阿達亮介	佐々木一馬	5	DF
	5	井筒庄吾	阿部昂平	27	
	26	仲村太地	松葉 開	8	
	9	阿部伶史	大和田優馬	23	
MF	2	タチコ	中村駿介	3	MF
	6	白井一馬	川井隆太	29	
	7	貞松涼太	渡辺勇作	14	
	8	鶴田溪季	佐々木直樹	9	
FW	13	伊芸順輝	中北 遣	11	
	16	ジェロニモ	阿部竜矢	16	FW
監督		丸山富洋	鎌田安久		監督

前6後5延長4	15	シュート	8	前1後4延長3
三好(31分)	1-1	得点	0-1	佐々木(1分)
鶴田(96分)	2-1			
丸山(100分)	3-1			
貞松→三好 諒(23分)	交代	川井→小松泰人(45分)		
伊芸→今枝弘幸(43分)		佐々木→水間齊吾(69分)		
仲村→丸山龍也(67分)		渡辺→吉田智広(102分)		
阿部、タチコ、丸山	警告			成田

◎特集 [第61回岩手県サッカー選手権大会]



アンソメット 堂々の準優勝

日本のサッカー界で最も歴史と権威があるといわれる大会、天皇杯一。

J1、J2のプロチームと各都道府県代表などのアマチュアチームがサッカー日本一を懸けて争うトーナメントだ。

その岩手県代表を決める「第61回岩手県サッカー選手権大会」で八幡平市に本拠を置く創設3年目のアンソメット岩手八幡平が準優勝した。天皇杯の切符獲得はならなかったが、快進撃を見せた戦いぶりを追った。